

2-2-3項 FP (代替サブプレッションチェンバースプレイ) (図-3参照)

操 作 順 序	操 作 内 容	確 認 事 項	操 作 場 所	確 認
	CCS系が使用不能で格納容器圧力が640kPaを超えたとき、MUW系による代替サブプレッションチェンバースプレイが不可能な場合FP系からの代替サブプレッションチェンバースプレイを行う。			
1	M/D消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプを起動する。		906	
2	CCS(A)系のサブプレッションチェンバースプレイラインに通水が可能であることを確認する。 (1) CCS(A)系サブプレッションチェンバースプレイ弁 (MO-1501-13A) 全開 (2) CCS(A)系サブプレッションチェンバースプレイ弁 (MO-1501-10A) 全開 (3) CCS(A)系ドライウエルスプレイ弁 (MO-1501-11A, 12A) 全閉 (4) CS(A)系注入弁 (MO-1402-24A, 25A) 全閉 (5) CS(B)系注入弁 (MO-1402-24B, 25B) 全閉 (6) RPV注水流量調節弁 (MO-20-365) 全閉	Ⓡ点灯 Ⓢ点灯 " " " " "	903 " " " " " AM. PNL	
3	FP系からMUW系へ通水するため以下の弁を全開にする。 FP-MUW連絡第一弁 (MO-20-351) 全開 FP-MUW連絡第二弁 (MO-20-352) 全開	Ⓡ点灯, Ⓢ消灯 "	" "	
4	PCV注水流量調節弁(MO-1501-91)を開にして注入流量がPCV注水流量計(FI-7-3)にて70m ³ /hrになるように調整する。既にRPV注水している場合も70m ³ /hrに調整するが、流量が増加しない場合は、RPV注水を中止して、70m ³ /hrの流量にてサブプレッションチェンバースプレイを行う。(70m ³ /hrが確保できない場合は、その時点の最高流量でプレイを継続する。)	Ⓡ点灯 FI-7-3	"	
5	外部水源による代替ドライウエルスプレイを実施している間は、AM設備制御盤S/C水位にて格納容器の水位を監視する。	LI-1600-1635	AM. PNL	
6	格納容器圧力が392kPaを下回ったら、PCV注水流量調節弁(MO-1501-91)を全閉し、以降は間欠的に代替ドライウエルスプレイを実施する。 (1) サブプレッションチェンバースプレイ開始 640kPa (2) サブプレッションチェンバースプレイ停止 392kPa	Ⓡ消灯 D/W圧力計 PI-1638 S/C圧力計 PI-1636	" " "	
7	外部水源による代替サブプレッションチェンバースプレイを実施中は外部水源注水総量を監視し、サブプレッションチェンバースプレイラインの水没防止のため、注水総量1700m ³ に到達にて代替ドライウエルスプレイを停止する。			

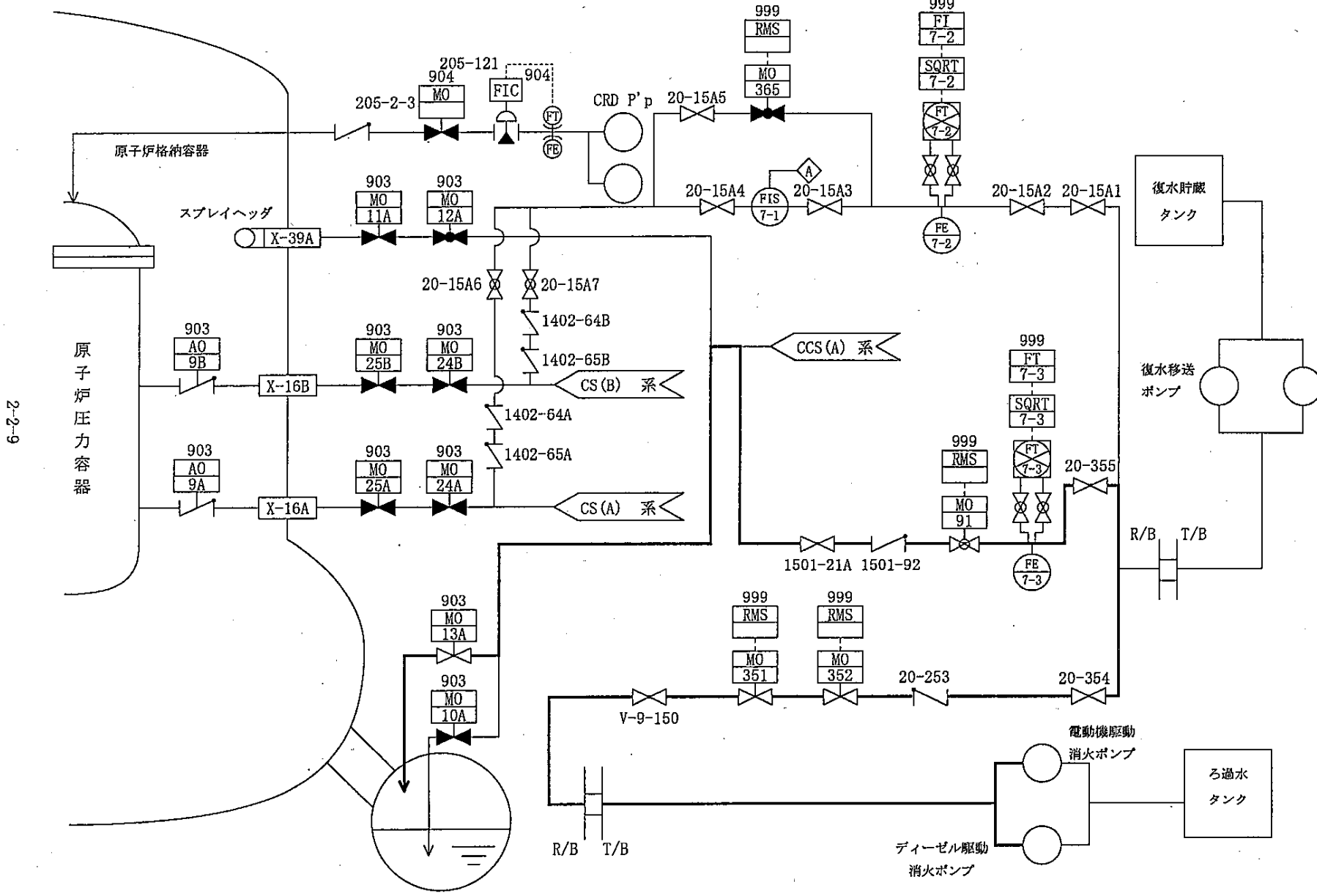


図-3 FP (代替サブプレッションチェンバースプレイ)

2-2-9